

川崎静一郎記念陸上大会  
新型コロナウイルス感染拡大予防 競技会参加ガイドライン  
【競技者・児童生徒指導用】

※このガイドラインは札幌市中体連が策定したものを基に本大会用に改訂したものです。2020年9月24日

### 1. 健康チェックに関すること

- 競技会1週間前からの検温を行い、指定の体調管理チェック表（別紙1）に記入し、引率者に提出すること。
- 体調管理チェック表（別紙1）の保護者署名欄は、参加に同意する保護者が署名すること。
- 体調管理チェック表（別紙1）の電話番号欄は、競技会当日、保護者に連絡のとれる番号を記入すること。
- 以下の事項のいずれかに該当しない。・体調が良くない。（発熱、席、咽頭痛等の症状がある場合）・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。選手と同居している者に発熱等の風邪症状が見られる。（学校の扱いと同様）・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航、又は当該在住者との濃厚接触がある。

### 2. 感染拡大予防の基本

- マスクを着用し、咳エチケットにより飛沫を飛ばさない。（各自が予備マスクを用意することが望ましい）
- こまめな手洗い、手指の消毒、洗顔を徹底すること。
- 全場面においてできる限り他の来場者とのソーシャルディスタンスを確保すること。
- 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、チームの責任者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

### 3. 感染拡大予防に関する具体的な取組

- 近距離での会話や大声での発声ができる限り避けること。声を出しての応援、集団での応援を行わないこと。
- 他の来場者との握手、ハイタッチ、ハグ等の身体接触は避けること。
- ゴミは全て各自が持ち帰ること。（特に体液の付着したゴミの扱いに注意する）
- 飲食については周囲の人となるべく距離をとって、対面を避け、会話は控えめにする。
- 体調に不安がある場合は、ためらいなくチーム引率者もしくは近くの競技役員に相談し、指示に従うこと。
- タオルやドリンクの共用はしないこと。
- 運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。
- 朝の公開練習を含め、ウォーミングアップは個別に行うこと。
- 健康状態の把握のため朝の集合は一斉に行い、各自の競技終了後は引率者の指示に従って速やかに帰宅することが望ましい。

### 4. マスク着用に伴う注意事項

- レース中にマスク着用の必要はない。招集中、移動中、待機中はマスクを着用すること。
- マスクを着用して運動を行った場合、熱中症を引き起こす恐れがあるため、息苦しさを感じた場合はマスクを外して休憩をとるなど無理をしないこと。

### 5. 施設入場時の配慮事項

- 予め引率者から入場時間および入場の仕方について指導を受けること。
- 入場ゲート（スタート側）付近の密を避け、引率者先導でチーム毎に速やかに入場する。入場時に各チーム引率者より健康チェックを受ける。場所取りのためのダッシュはしない。
- 健康状態が不確かな者がいる場合は速やかに検温を受けること。
- 到着の遅れた競技者は、競技者係に体調管理チェック表（別紙1）を提出し、確認を受けること。
- 入場後、速やかに手洗い、手指の消毒を実施すること。

### 6. 招集手続きに関すること

- 全種目において現地（スタート地点）集合とし、現地での点呼をもって招集完了とする。
- 腰ナンバーカードは各自で用意する。9レーン以上の腰ナンバーカードは招集時に競技者係から借りる。使用後は各自責任をもって返却する。

### 7. 種目共通の注意事項

- 競技終了後、手洗い、手指の消毒、洗顔を徹底すること。
- 滞在時間短縮のためアナウンスによる競技者紹介は実施しない。
- 人だかりができないように掲示板を用いた記録の掲示は行わない。
- 開会式、閉会式は実施しないが、3位までの入賞者は競技場入り口付近で担当者から賞状とメダルを受け取る。4位から8位までの入賞者は競技場入り口付近の柵から各自賞状を持ち帰る。

### 8. トラック種目の注意事項

- スタート位置やフィニッシュ後に留まることを短時間とすること。
- 荷物持ち等の付き添いは行わない。（各自ビニール袋等を用意して雨天時にも対応する）
- 各自が用意するビニール袋にはアスリートビブスのナンバー、所属、氏名を記入し、取り違いに注意する。
- ゴール後、直線競技は速やかに競技場を出てスタート地点へ戻って荷物を回収する。
- ゴール後、200m以上のレースは競技場内トラックのアウトレーンを通してスタート地点へ戻る。

### 9. フィールド種目の注意事項

- 投てき器具等を共用禁止にする必要はない（終了後の手洗い、洗顔を徹底する）
- 競技中、共用器具を触って手で不用意に顔を触らない。
- 炭酸マグネシウム利用については共有しない。（競技役員による小分け、競技者の持ち込みも認める）

以上 必ず内容を理解し、遵守すること。